

出水概要と治水事業の効果

平成25年8月6日作成 今後の調査等により、掲載している数値が変わることがあります。



【出水状況】梯川右岸8k付近

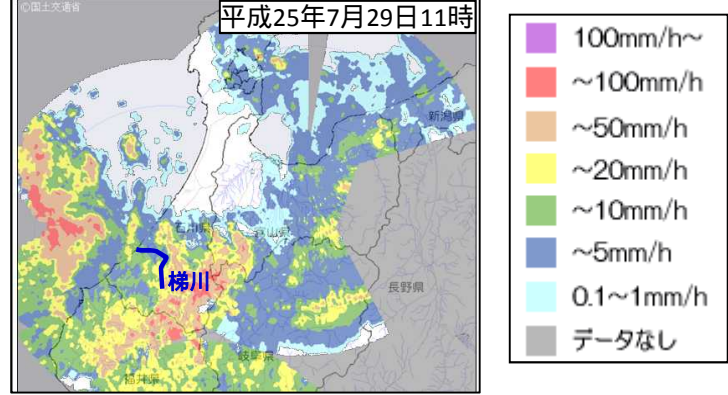


気象の状況

平成25年7月29日から30日にかけて、梅雨前線が朝鮮半島から日本海をとって北陸地方に達し、この梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となった。

小松観測所(气象台)の日降水量**199.5mm**(29日00時~24時)は、**7月の月降水量の平年値210.1mm相当**の降雨であった。

レーダ雨量(X-RAIN)による観測



河川水位の状況

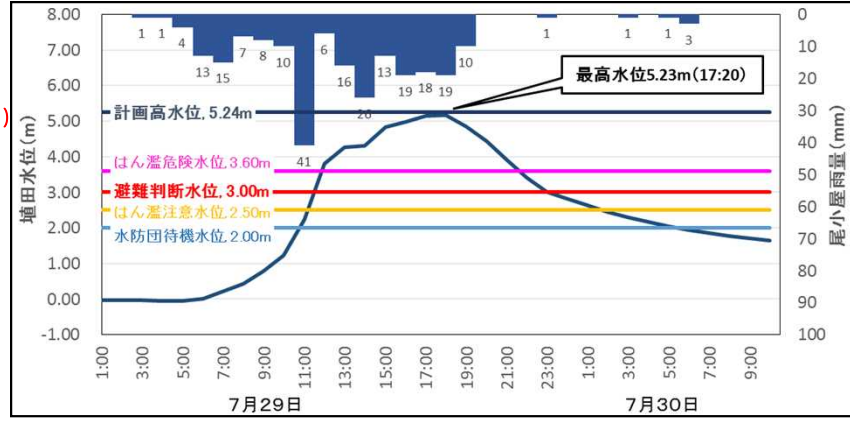
【過去の水位記録(はねだ 埴田観測所:9.8k)】

順位	年月日	水位 (m)
1	H25.7.29	5.23
2	H10.9.22	5.07
3	H18.7.17	4.91
4	H16.10.20	4.67
5	H18.7.19	4.39
6	H10.9.17	4.33
7	S59.6.26	4.08
8	H8.6.25	3.72
9	S56.7.3	3.63
10	S58.9.28	3.56

観測史上第1位
(計画高水位まであと1cm)

S47~H25年に生じた順位である。

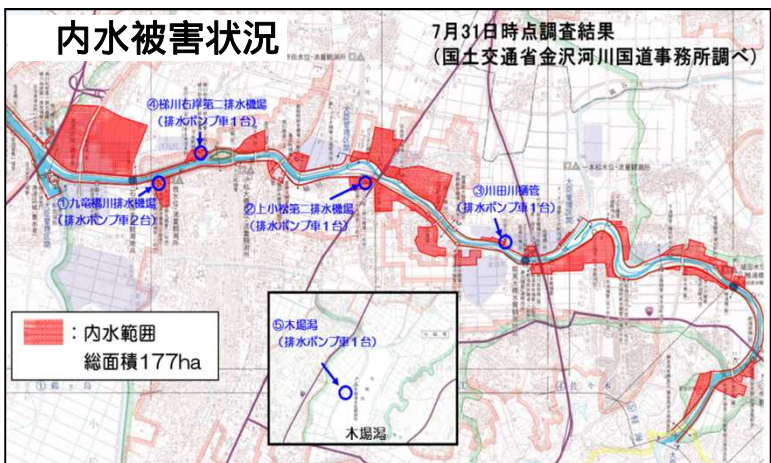
【埴田水位観測所の推移】



浸水家屋等の被害状況(内水)

住家被害 床上浸水 1棟
床下浸水 28棟
非住家被害 77棟

※石川県「被害情報第11報8/1/18時」より



避難勧告等の状況

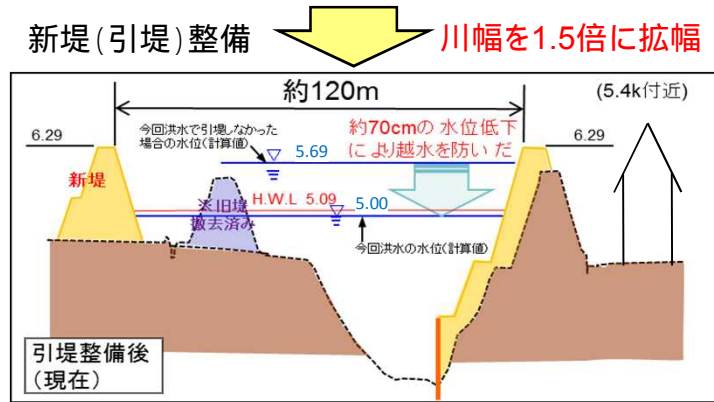
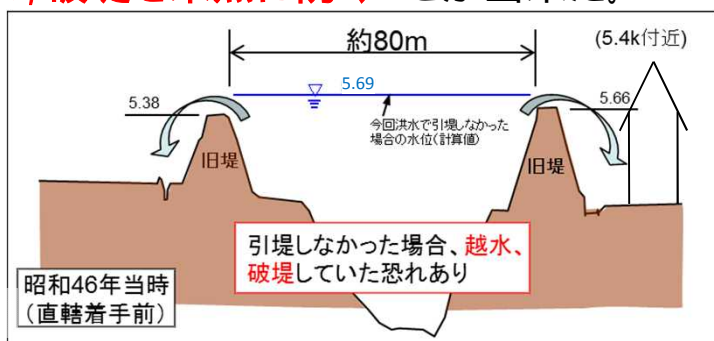
はん濫危険水位を大きく超過したため、**6,210世帯、18,171人**に避難勧告、**避難指示**が発令されました。

※石川県「被害情報第11報8/1/18時」より



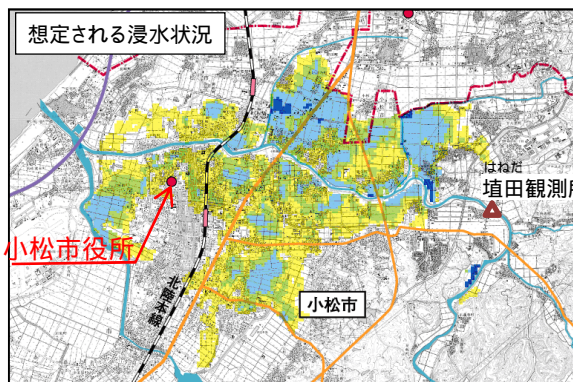
梯川の引堤事業の効果

約70cmの水位低下効果があり、越水、破堤を未然に防ぐことが出来た。



梯川はん濫シミュレーション

引堤整備前に、今回の洪水に近い規模の洪水が流れて梯川が氾濫した場合、約7,400戸の家屋浸水と、約21,600人の被災が想定される。

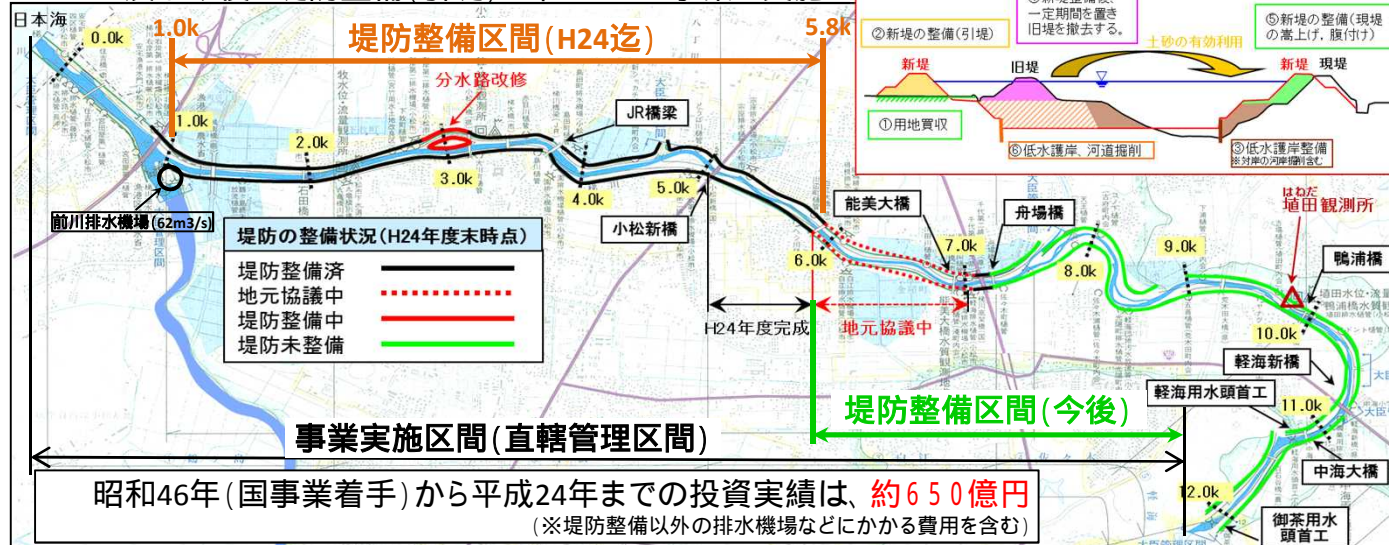


浸水面積 (km ²)	15.9
総被害額 (億円)	1,694
被災人口 (人)	21,594
床上浸水戸数 (戸)	3,125
床下浸水戸数 (戸)	4,280



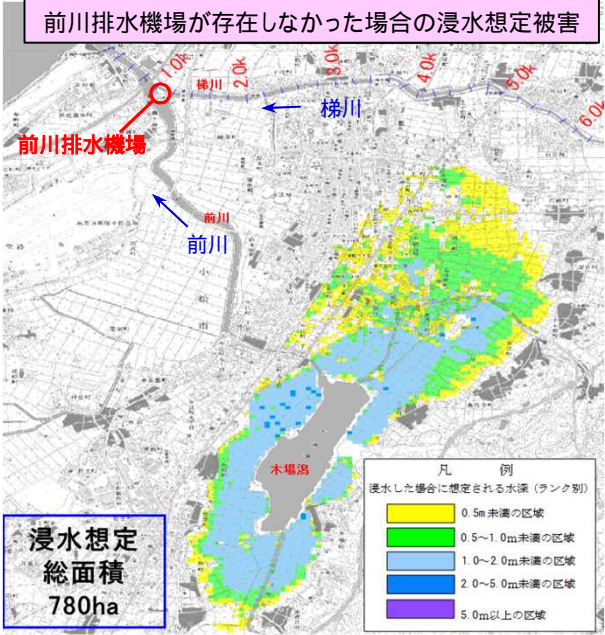
梯川河川改修事業

これまで及び今後も堤防整備(引堤)を中心とした事業を実施

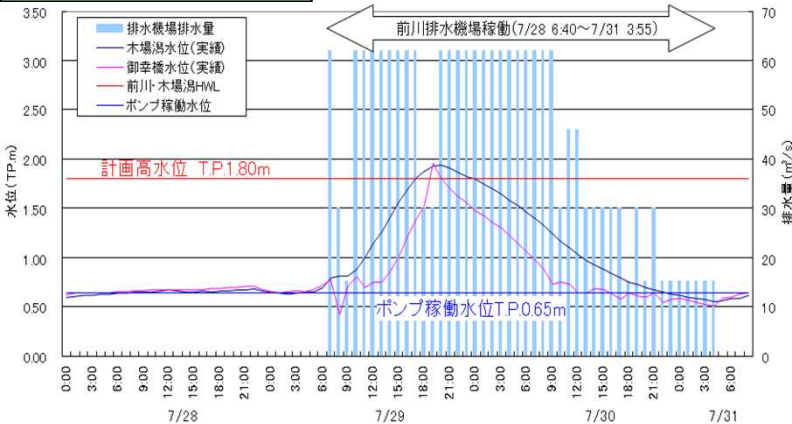


前川排水機場の効果

・前川並びに木場潟の**自然排水が困難**となり、**前川排水機場(最大62m³/s)**を**運転**
 ・もし、前川排水機場が存在しなかった場合、**木場潟周辺で浸水被害が発生と推定**



前川排水機場の稼働状況



	運転時間	総排水量	備考
前川排水機場	7/29 6:41 ~ 7/31 3:55	42時間14分	680万m ³ 運転日報による

今回洪水における総排水量680万m³の量を例えと

25mプール: 約25,000杯分
 275m³/杯
 (縦25m × 横11m × 水深1m)

木場潟: 約5杯分
 有効貯水容量130万m³



地域防災への支援

国土交通省が配備する「排水ポンプ車」「照明車」「衛星画像通信機器」を5箇所に
出動(小松市の要請による)し、夜間を含め**緊急排水を実施**するなど、**地域防災を支援**

九竜橋川排水機場

木場潟



排水ポンプ車2台、照明車2台、衛星画像通信機器1台

排水ポンプ車2台、照明車1台

【問い合わせ先】
 北陸地方整備局 河川部 河川計画課
 〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1
 TEL025-280-8958